

「太田川源流の森」 森林保全活動

広島市指定上下水道工事業協同組合青年部会

- 担当役員 山本昌宏
- 実施日 平成17年10月22日（土）
- 参加者 42名【組合員、従業員、家族、組合事務局（内青年部関係者12名）】

平成17年10月22日（土）、「太田川源流の森」にて森林保全活動を行いました。この活動は、水道事業の一翼を担う上下水道組合として、水についての将来を展望し、水源である緑の森の涵養あるいは川の環境保全など、原点から水質確保に努める為に、平成13年度から始めたもので、今年で5回目となります。私ども青年部も積極的に参画させていただいております。

「太田川水源の森」は、名水百選にも選ばれた広島市の「母なる川、太田川」の源である冠山が位置する源流域の森林です。広島市ではこの355ヘクタールにおよぶ森林を、平成10年度に取得しました。その森林の保全活動のお手伝いをさせていただこうという企画です。

年によっては、苗木を植える植林活動も行ってきましたが、本年度は、成長した樹木の下枝を切る「枝打ち」を行



参加者全員集合～！（広島県廿日市市吉和にて）

う事としました。この「枝打ち」を行う事により、太陽光が根元まで届くようになり、風通しも良くなり、森が元気になるのだそうです。

あいにくの雨模様の中、朝10時に集まったメンバーは、老若男女42名。組合のPR活動で募集したイメージキャラクター（愛称：ミズッピー）を背中にデザインした新作のウインドブレーカーを全員が着用し、頭にはヘルメット、手にはノコを持って、森へと入って行きました。

今年度の枝打ちは急斜面の樹木が対象でしたので、雨で滑りやすくなった足元に注意しながら作業を行いました。それぞれの目標の木にたどり着くまでは、恐る恐るでしたが、いざ木にたどり着くと、皆さん慣れた手つきで次々と枝を切り落としていき、スピーディーに予定の作業が完了しました。

終了後、麓にあるレクリエーション施設「魅惑の里」で、持参のバーベキューを行いました。緑の美しい森の中でのバーベキューは、最高の味でした。

子供と一緒に参加した青年部のメンバーは、お子さんに「この森に雨が降って、太田川に流れて、浄水場できれいにして、みんなのおうちの蛇口から水が出るんよ。その後、海に流れて、空に上って、また雨になって森に降ってくるんよ。森や川をきれいにせんといけんじゃろう。」と話していました。

このような活動を通じて、水やそれを取り巻く自然環境を守っていく大切さを一人でも多くの人に体感していただければと思います。



樹木の枝打ちのデモンストレーション。神妙？に模範実演を見つめる皆さん（うまくできるかなー？）



これぞ、枝打ちの秘技?!（あれ！この人、どこかで見たことあるような…）



「太田川源流の森」の渓流。川底の岩に力強く生育する水草とその上に繁茂する常緑広葉樹。

夏休み親子上下水道施設見学バスツアー

広島市指定上下水道工事業協同組合青年部会

- 担当役員 和田良次
- 実施日 平成17年8月24日(水)
- 参加者 20名【小学生8名 保護者6名 青年部6名】

今回の見学バスツアーの目的は、蛇口を捻れば出てくる水道水は、どこからどのようにして来るのか、そしてどのようにして自然へと帰るのかを知ることによって、水の大切さ、環境保全を学んでいただければと思い、青年部で主催いたしました。

広島市の水道水は、太田川の水を飲料水にしています。今回の見学会は、道路状況により(バスが通れないのと時間の都合上)水源地まで見学が出来ませんでした。

広島市指定上下水道工事業協同組合に集合しバスにて出発。出発時の天候は曇りだったが、参加者の行いが良いのか、移動中に天候が良くなりました(移動時間60分)。まずは、環境保全の目的で太田川河川敷にてゴミ拾いを(活動時間30分)致しましたが、夏場なので花火の燃えかすや空き缶類のゴミが多く感じられましたが、それほど沢山のゴミは無かったです。その後バスにて高瀬堰を渡り車中より取水口を見学し高陽取水場に到着(移動時間15分)、水道局職員の方々の案内にて取水場見学(見学時間60分)沈砂



下水処理場制御盤室見学中

池には小魚たちがいたが、写真には写ってなかった。建物内には大きな取水ポンプが6機も並列に並んで動いていた。導水管は人が立って歩ける位の大きさが有った。取水場をあとにして高陽浄水場に移動(移動時間15分)。高陽浄水場に到着し、時間的に正午だったので建物4F大会議場にて昼食(休憩時間60分にした)。午後からは、大会議場にて、子どもでも解りやすい様に水道局の作成した、人とロボットによる水に関する漫才的なビデオ鑑賞をした(鑑賞時間10分)。その後、浄水場見学(見学時間80分)、着水井、薬品注入設備、混和池、フロック形成池、沈でん池、ろ過池まで見学したが、塩素注入設備、浄水池、送水ポンプは施設が離れ時間的に余裕が無かった為、見学を断念した。建物の、1Fに給水管の大きさ毎に輪切りにした模型台を見学、小さいもので直径13mm、口径事に重ねて大きいもので直径2Mは有った。水道局職員の方々に御礼の挨拶をし浄水場をあとにした。その後、西部浄化センターに移動(移動時間45分)。浄化センター到着、下水道局職員の方々につられて建物4Fの会議場到着、ビデオ鑑賞をふまえて汚れた水をどのようにきれいな水に帰すのか、科学の実験みたいな感じで説明してくれた(実験時間25分)。会議場をあとにして、最上階の展望台から施設の広さを見学、施設内に大きなガスタンクがあり、汚水から出たメタンガスを、貯蔵し火力発電に利用していると説明された。そのほか、処理施設は汚物の悪臭がするためすべて平屋建で近隣住人の生活が不快にならないように換気処理をしていた。処理施設屋上には、市民が利用できるテニスコートなどがあつた。次に、施設の機械を制御する制御盤室、処理施設内(処理施設内はすごい悪臭が漂っていて、屋外に出るまであまりの臭いに息ができなかった)見学(見学時間50分)。下水道局職員の方々に御礼の挨拶をし浄化センターをあとにした。組合に移動(移動時間10分)、どうにか17時までに組合到着し、事故も、けが人もなく今回の見学バスツアーを終了。



大口径給水管原寸大見学中



浄水場沈でん池見学中



浄水場沈砂池見学中